



< Tsudoe~ru's "RECOMMEND" >  
住民による茨城情報発信サイト

## 「いばらき だいすき」ホームページの紹介

【 はじめに ~情報の海の中から...~ 】

皆さんは、日々どのように情報を入手されていますか？ドイツ人のゲーテンベルクが活版印刷技術を実用化することにより、私達は社会全般にわたり情報を伝達する手段を手に入れました。それは約 560 年経た今日でも重要な手段の一つであります。変わって現代をみますと、活字という手段以外に音声や映像を記録することが可能となり、ラジオ、テレビ、インターネット...、多種多様なメディアが私達に情報を提供してくれています。

この中でもインターネットの利用が、わずか十数年で爆発的に伸びていることは周知のとおりです。日本のインターネット人口は2006年2月調査時点で約7,362万人。日本の人口は1億2686万9397人(住民基本台帳:2005年3月末時点)というのですから約6割近い人々がインターネットを利用していることとなります。

ところで、インターネットに広がる情報の海から本当に有益なものを見つけ出すことは、意外に難しいと感じたことはありませんか？当然その中には、読者の皆さまが日々活動される「地域づくり」を支える情報も存在しております。そのような情報の中に、まちづくりの着想になり、有益な助言になり、また住民間の意思疎通が広がるきっかけになるものがあるはずで。

そこで本号から不定期連載ではありますが、情報の量・質、共に優れていること、且つ市民によって情報が作られ発信されていること、これらの条件を揃え持つ優良なWEBサイトを紹介してまいりたいと思います。

これらのWEBサイトは、皆さまの知識をより広くより深いものに変えてくれるものと思います。のみならず、良い作品からは、次に述べます「市民による情報発信」のお手本として学ぶべきことが沢山みつかるはずで。

また、私は皆さまに“情報発信”を始めることをおすすめいたします。情報発信活動が人々に与える影響は大きいものです。情報を発信することにより“まち”を再構成する力が生み出される可能性だってあります。また、双方向性のある情報のやりとりにより新たな友人も出来ることでしょう。私は、情報発信の第一歩が皆さまの生活に必ずや潤いを与えてくれるものと信じてやみません。

【 記念すべきホームページ紹介“第1号”は 】

それでは、早速ご紹介したいと思います。栄えある記念すべき第1号WEBサイトは！

## 「いばらき だいすき」

( <http://ibaraki-daisuki.main.jp/top.htm> )

です。「いばらきだいすき」(以下、HPと記載します。)は、2001年の開設以来、約47万件のアクセスを誇るサイトであります。茨城の人口が2,971,431人(2006年8月時点)ですから、如何に多くの方々を訪れているか驚くばかりですね！このサイトを KOUJINN(旅人)さんお一人で運営されています。

【 サイト運営者：  
KOUJINN(旅人)さんのプロフィール 】

茨城県土浦市生まれ。千代田村で数年間生活した後、県外に引っ越されました。母方の祖母や兄弟が茨城県内各地に住んでいることもあり、県外に引っ越した後も定期的に茨城にいらっしゃるそうです。2000年頃から頻りに県内各地を旅するようになられたとのこと。

お歳は30代。

(「いばらき だいすき」TOPページ)



## 【 ホームページを見てみよう 】

HPIは、KOUJINNさんの視点からみた茨城が語られており、最近、Blog形式で茨城探訪の様子を紹介されています。茨城を訪れる際は、必ず「ここを観光する。」「このイベントに参加する。」などの目的を持たれてレポートされているのが特徴です。特にシリーズ物（勝手に私が思っているだけかもしれませんが）「まつりつくば」、「土浦キラまつり」、「牛久かっぱまつり」等のおまつりレポートや、常磐線、つくばエクスプレス沿線のお話は「へえ～」と思うお話が数多くあります。

ちなみに、私の好きな話は「潮来（いたこ）～振り返り編～」です。（2002年11月3日（日）取材）

[http://ibaraki-daisuki.main.jp/burari/2002/021103\\_01\\_itako\\_kaeriuti\\_030313.htm](http://ibaraki-daisuki.main.jp/burari/2002/021103_01_itako_kaeriuti_030313.htm)

この話を簡単に説明しますと、いばらきの観光地のひとつ霞ヶ浦を KOUJINNさんの目で確かめるべく千葉から潮来にいらっしまったのですが...その結末は...

涙なくしては読めない一日の記録がつづられています。潮来駅前の状況を知っている人ならば、その悲しさが良く分かるのですが...。気になる方は、是非読んでいただきたいと思います。何故私がこの話に共感を覚えるのかですって？ それは、秘密です。是非、地元の方々に観光地に来た方々がどう迷うものかを感じていただき、まちづくりに活かしていただければと思う次第であります。

とにかく「これでもか～これでもか！」と叫びたいくなる程、茨城の魅力を引き出して下さっているホームページですよ。本当に“いばらきじん”としては嬉しくなるサイトなのです。

さあ、今すぐアクセスしてその魅力を味わいましょう！

## 【 KOUJINNさんに聞く 】

KOUJINNさんに電子メールによる質問をさせていただきました。以下、インタビュー形式でご紹介させていただきます。

- HPをはじめたきっかけや、趣旨などを教えて下さい。

1985年に現在のつくば市で開催された『国際科学技術博覧会（科学万博-つくば'85）』の会場跡地に訪問したことが事の始まりでした。

その後、定期的に茨城を訪問するに従い、茨城県全土の魅力を発見。現在では茨城県の歴史、自然、行事などに訪問し、その魅力を紹介するサイトになっています。

- HP作成のために、こんなにも茨城を歩いていらっしゃる人はいないと思いますが、大変ではありませんか。

楽しみながら茨城に訪問していますので、大変ではありませんよ。もっとたくさんの県内各地に訪問したいくらいです。取材内容を更新する時間が足りないのが、つらいところです。茨城を紹介するサイトやブログはいくつか存在しますが、「歩く」ことを中心にして活動している方は少ないと思います。車で各地を訪問される方は多いようですね。

- 在住者でも知らないような記事が沢山掲載されていますが、茨城県の情報を集めるためどのようなご苦労をされていますか。

茨城県が運営する公式サイトや、茨城県の各市町村のサイトを定期的に訪問するようにしています。地元新聞社の茨城新聞（茨城新聞社）、常陽新聞（常陽新聞新社）のサイトも欠かさず見るようにしています。上野駅（＝「花の楽園いばらきへ」）や秋葉原駅（＝TX駅構内のポスターや、いばらき情報ステーション等）を利用する機会も多いので、パンフレットやチラシなど注意して見るようにしています。



写真左上より

第17回うしく・鯉まつり (2006/05/03)

まつりつくば2006 (2006/08/26)

石岡のおまつり六軒町の記念撮影 (2006/09/17)

写真は、KOUJINN（旅人）さんの許諾を得て転載しています。





T X関連のページより  
上：TX車両  
右：スピーフィくん

- KOWJINNさんの「いばらき」をみる視点は「まちおこし」「都市計画」などにあると思いますが、特に注目されている点は、

県内各地に訪問する際、鉄道を利用することが多いため、駅周辺の経済状況を観察するようにしています。最近では「シャッター商店街」問題が各地で騒がれていますが、どのようにすれば経済が復活できるのかを考えています。建物と道路の関係（＝人と車の導線計画）や、お店の入りやすさ（＝お店の雰囲気、入口の開口部設計、店内の明るさ等）、店員さんの接客態度（＝俗に言う「殿様商売」になっていないか）等の、ハードからソフトまでを見るようにしています。

- 「いばらき」で一番好きな町はどこでしょうか。また、どのようなところに魅力を感じますか。

土浦駅市街地が好きです。自分が幼かった頃、土浦駅周辺はたいへん楽しい場所でした。土浦京成百貨店や西友土浦店で買い物をしたり、ヨットハーバー（霞ヶ浦 土浦入り）でゴーカートを楽しんだり、食事を楽しんだり。

今はもう当時の面影はありませんが、「あの時できたのだから、今でも絶対できる！復活できる！」と思っています。そんな風に思わせてくれるのが土浦駅周辺であり、魅力を持たせてくれる街です。

- これまでの活動において印象に残られたことは？

地域の方に直接お話を聞くことがあり、その際に、地域の方が丁寧に対応をしていただけたときがうれしいです。中には茨城特有の“ぶっさらぼう”なところが表にでる地域もあり、それがサービス業の方だったりすると残念な気持ちになってしまいます。

旅の中でうれしかったのは、江戸崎町（現・稲敷市）付近を旅している際に、帰りの手段を無くしてしまい、記憶の中から江戸崎地域の旅館の存在を思い出して見つけ、宿泊することができたハプニングの回『古渡遭難事件』（2005年7月22日）です。自分の持つ地域の情報と、リアルタイムに活動してうまく話を付けられたのが良かったと思っています。（[http://ibaraki-daisuki.main.jp/burari/2005/050722\\_01-futto\\_accident\\_051116.htm](http://ibaraki-daisuki.main.jp/burari/2005/050722_01-futto_accident_051116.htm)）

- これからの「いばらき」に何を期待されますか。

観光面において...観光地であったり、名所であったりするの、茨城の日常に埋もれてしまっている場所がたいへん多いので、観光案内板（標識）などを拡充、整備して欲しい。経済面において...地域格差の解消。経済弱小地域の改善。県北地域に行くと、さびれている風景を多く目にします。自営のお店がつぶれているのを見ると、後継者問題なのかなーとか考えてしまいます。

地域に限った話ではありませんが、自営業の方達が「後を継ぎたくない」という体制づくりが必要なのかな、と思います。

- 今後の活動予定、抱負などを教えてください。

公共交通機関では訪問しづらい場所への訪問。サイト『いばらき だいすき』をもっと見やすく改善したい。多くの『いばらき だいすき』の方達が情報を交換できるようなサイト作りをしたいです。

- 最後に、読者にメッセージをお願いします。

茨城県内は全土に渡って、歴史、自然、風土、どれをとっても魅力のある土地です。地元の方にとって「当たり前」のことが、他地域の方から見れば「新鮮」だったりします。少子化社会になり、地域内で経済を回すことがさらに困難になることが予想されます。そういう意味で、県外のお客様を集め、地域経済に発展させていくことにもっと力を入れても良いのではないのでしょうか。皆さんの地域に、もっともっと自信を持って良いと思います。



まちおこし関連のページより  
左：結城市巡回バス



右：土浦市キララちゃんバス

blog とは

（出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』）  
ブログ（ウェブログ、Blog、Weblog）とは狭義には World Wide Web(Web)上のウェブページの URL とともに覚え書きや論評などを加え記録(Log)している Web サイト。"Web を Log する"という意味で Weblog と名付けられた。  
現在、より頻繁に用いられている広義には作者の個人的な体験や日記、特定のトピックに関する必ずしも Web に限定されない話題などのような、時系列で比較的頻繁に記録される情報についての Web サイト全般を含む。